

馬鈴しょでん粉

PR

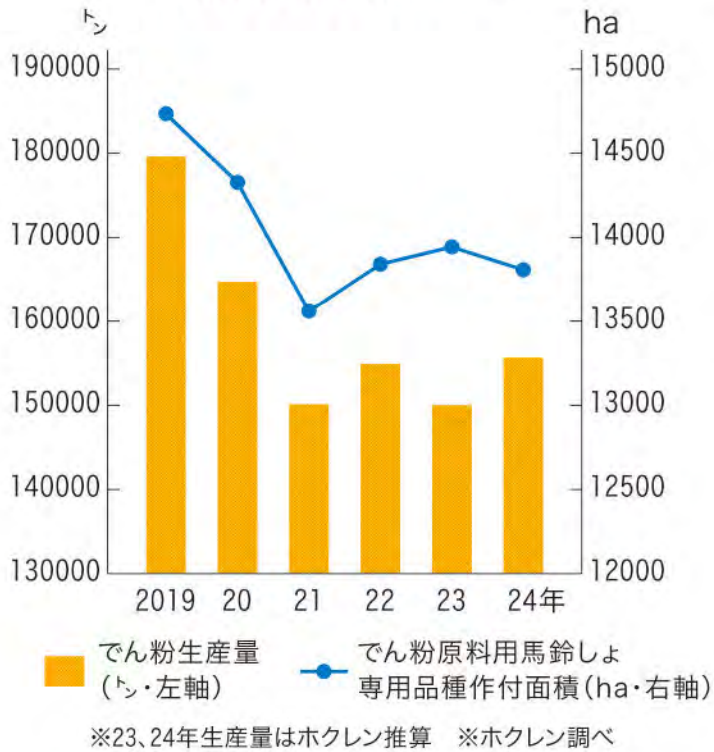
主産地への期待

総集編

北海道産馬鈴しょでん粉は、他のでん粉に比べ保水性に優れているなどの特徴がある。また、道産である安心感やブランド力からニーズは高く、食品用を中心に糖化用・加工用などさまざまな製品に活用されている。

一方、でん粉原料用馬鈴しょの作付面積は近年減少傾向となり、でん粉生産量も低い水準で推移していることから需要を十分に満たせない状況となっている。

馬鈴しょでん粉生産量と
でん粉原料用馬鈴しょ作付面積



本コラムは、2023年8月から2024年7月まで十勝毎日新聞本紙にて連載した「馬鈴しょでん粉 主産地への期待」の総集編として、全国のユーザーからの生産拡大の要望や産地への期待の声を掲載する。



でん粉工場に搬入される原料馬鈴しょ

当コラムは全12回を予定しています。消費地ユーザーや需給状況などを紹介することで、でん粉原料用馬鈴しょの作付け拡大を図りたい考えです。どうぞ1年間お付き合いください。

◇ 需要に対して供給量が大きく減少している「北海道産馬鈴しょでん粉」。需給動向やどのような商品に活用されているかなどを、関係者の寄稿文で月1回紹介する。

2023年8月26日掲載

1 原料生産拡大が急務

ホクレン
でん粉課長・野田達也



北海道は日本一の馬鈴しょ(ジャガイモ)の産地であり、「北海道産馬鈴しょでん粉」についても国産でん粉生産量の8割強を占めています。道内で製造される馬鈴しょでん粉はとろみ付けに使用される「片栗粉」が最も身近な商品ですが、飲料用甘味料(異性化糖)や水産練製品、菓子類、麺類などさまざまな食品で使用されています。食品以外にも飼料や製紙、医薬品工業など幅広い用途で使われ、皆さまの暮らしに無くてはならない商品です。

北海道にはJA系統のでん粉工場が9工場あり、例年9〜11月の期間で生産された馬鈴しょから、でん粉を製造しています。

しかしながら、令和2年産から3年連続不作や馬鈴しょの病害の影響などから、でん粉原料用馬鈴しょの生産量が落ち込みました。ユーザーへの販売量を制限しなければならぬ危機的な状況で、原料馬鈴しょの生産拡大が急務となっています。

北海道産の馬鈴薯でん粉の生産を応援しています

<所属団体・企業>

- | | |
|---------------|-------------------|
| JA全農 | 東海デキストリン株式会社(愛知県) |
| 株式会社稲井(宮城県) | 東海澱粉株式会社(静岡県) |
| 籠島澱粉株式会社(東京都) | 林一ニ株式会社(大阪府) |
| 三幸食品株式会社(東京都) | 三倉産業株式会社(宮城県) |
| 株式会社杉山商店(静岡県) | ユアサフナショク株式会社(千葉県) |
| 大築産業株式会社(愛知県) | |



農協系北海道産馬鈴しょでん粉を原料とした片栗粉の消費拡大に関する事業に取り組んでいます

高品質な製品の安定供給を中心に、お得意先様に供給面でのご心配をおかけしないよう、産地と協力・連携し、役割を果たしていきます

組合社数/東京11社・中部5社・関西9社・西日本7社

一般社団法人全国片栗粉組合

兵庫県西宮市山口町阪神流通センター 1-107-1 TEL. 078-907-1820

東京澱粉星交会

事務局/三幸食品株式会社

東京都中央区日本橋蛸殻町2-16-7 TEL.03-5642-7331